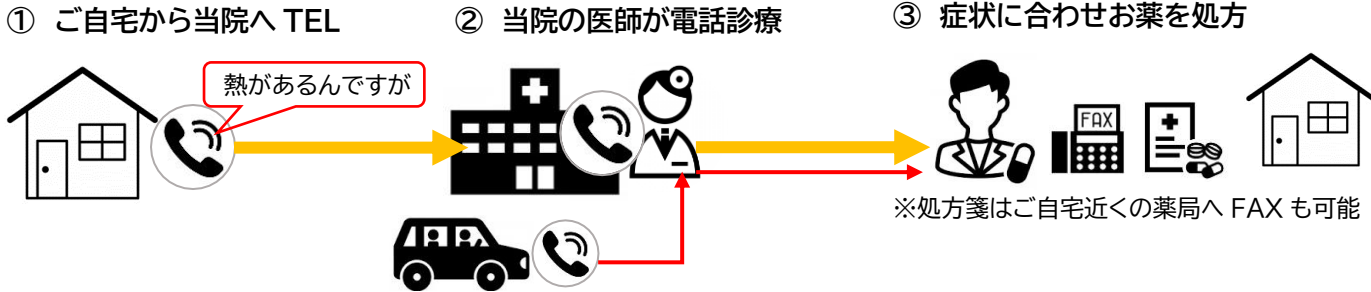


**皆様に安心して受診していただく為に**

熱・呼吸器症状のある方は、一般の患者さんと重ならないよう原則として  
 検査等を見合わせ、院外にて**電話診療**で対応させて頂いています。  
 体調の悪い方は、ご自宅からのお電話で診察・お薬の処方ができます(来院不要)



※直接来院された場合は、別室または車で待機していただき、電話診療となります

**【追記】** 横浜市内の PCR 検査体制が整い次第、対応は変更となる可能性があります

2020年5月～ 青葉さわい病院 外来担当表

整形外科	月	火	水	木	金	土※
午前 9:00～12:00	加藤 章嘉	澤井 博司 (理事長)	澤井 崇博 (病院長)	澤井 博司 (理事長)	荒尾 誠 【予約制】(第1,3,4金曜) 齋藤 滋 (足の外科専門外来)	荒尾 誠 (第1,3,5土曜) 加藤 章嘉 (第2,4土曜) (第1,3土曜) 齋藤 滋 (足の外科専門外来)
午後 2:00～5:30	澤井 崇博 (病院長)	荒尾 誠	加藤 章嘉	澤井 崇博 (病院長)	加藤 章嘉	(診療可能)
内科	月	火	水	木	金	土※
午前 9:00～12:00	岡崎 優	岡崎 優 (糖尿病専門外来) 張 智為	鈴木 紘一	米山 喜平	清田 康 (交代制) 安田 透 (交代制)	橋爪 洋平
午後 2:00～5:30	清田 康	須郷 慶一	鈴木 紘一	米山 喜平	休診	休診

☆ 足の外科専門外来…金曜日は予約制、土曜日は受付順(受付時間は12時まで)です。  
 ☆ ※土曜日午前の診察時間は9:00～13:00です。  
 ☆ 内視鏡検査は、月・水・土[午前のみ] に行っております。下記連絡先までご相談下さい。  
 ☆ 各種健康診断も行っております。お気軽にお問合せ下さい。

# 新型コロナウイルスに関して情報を一緒に整理してみよう

「毎日毎日 TV から流れる新型コロナのニュースに何だか驚かなくなった」  
 「緊急事態宣言が解除されて、何となく落ち着いたのかなという気がする」

という方もいらっしゃると思います。が、新型コロナに関して忘れていけないのが下記の2点です。

**まだ解明されていないことが多い**

**治療薬やワクチンが確立されていない**

横浜市が毎週金曜に発表する区別の感染者数では、青葉区は残念ながら大規模なクラスター発生の報告が無いにも関わらず、感染者の数は常に上位(1~3位の間)で推移していることが多いです。緊急事態宣言等、今後様々な緩和が増えるであろう、今、改めて気を引き締める為にも今回は「軽症」や「重症」の区分けについて一般の方と実際の医療機関での解釈(定義)の違いを確認していきます。









**知って欲しい判断基準の一つ  $SpO_2$**  (酸素飽和度、サチュレーションともいいます)

酸素飽和度( $SpO_2$ )とは、心臓から全身に運ばれる血液(動脈血)の中を流れている赤血球に含まれるヘモグロビンの何%に酸素が結合しているか、皮膚を通して(経皮的に)調べた値です。一般的に96~99%が標準値とされ、90%以下の場合には十分な酸素を全身の臓器に送れなくなった危険な状態と考えられます。パルスオキシメーターという指先を挟む形の機器で測定します(右図参照)

パルスオキシメーター



症状	一般の方のイメージ	医療上の解釈・定義
軽症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高熱ではない</li> <li>・自分で動ける(トイレ等)</li> <li>・食欲はないが食べられる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>SpO_2</math>が96%以上 酸素投与は不要(自力の呼吸で酸素が吸える)</li> <li>・意識がある</li> </ul> 
中等症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高熱で食事が摂れない(点滴して回復するレベル)</li> <li>・ぐったりしている</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>SpO_2</math>が95~93%</li> <li>・<math>SpO_2</math>が93%程度で酸素投与が必要な状態となり、入院が必須です</li> </ul> 
重症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識が朦朧としている</li> <li>・動けない</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識がないケースが多い</li> <li>・人工呼吸器やECMOが必要</li> <li>・<u>機器の力を借りないと呼吸ができない</u> =機器を使わないと命に危険がある</li> </ul> 

一般の方は「体調の悪さ・辛さ」を基準にイメージするのに対し、医療関係者は心肺停止等の「生命の危険」を基準に考えます。**新型コロナウイルスの怖さは、軽症から重症に悪化するスピードが数日という早さであるという点です。**それを今一度確認し、引き続き感染拡大を防ぐ為に気を付けていきましょう!

新型コロナウイルス感染症には、**基本的な感染予防対策が有効**です。



横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンターを開設しました。

受付時間  
9:00~21:00  
(土日祝日を含む)

**045-550-5530**

横浜市 新型コロナウイルス  
横浜市健康福祉局  
健康 安全 課

医療法人社団 博慈会 青葉さわい病院

〒225-0004 横浜市青葉区元石川町 4300 TEL045-901-0025(代表) FAX045-903-9886(専用) 発行：地域医療連携室